



TITLE:

同好會報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

同好會報. 天界 1921, 1(5): 80-80

ISSUE DATE:

1921-02-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159551>

RIGHT:

## 同好會報

●一月例會 一月二十九日(土)午後三時から京都大學物理學教室で豫報の通り開會、左の講演があつた

「天文と迷信」

教授理學博士

新城 新藏氏

五十名ばかりの來會者があつた。——寒い日であつたにかゝはらず  
●岡山支部幹事 岡山は今まで水野幹事只一人で百人に垂んとする會員諸氏の世話をしてゐられたが、非常に多忙なので本部でも頗る御氣毒に思ひ、遂に一月末新たに同地第六高等學校教授理學士宮原節氏に新しく幹事を囑托した。今後は御二人で活動して下さい。答。

●岡山天文臺の計畫 岡山は中國に於ける文化の一大中心であり、我が同好會員も頗る多く、従つて天文學の普及も著しい。又氣象の方から言へば全國各地と比して晴天が多く、曇天乃至雨天の数が少ない、風も強くない。附近に高い山もない。實に好い所なので、ここに一大天文臺を建設しやうとする企てがある。之れは先頃、岡山の「時」博覽會に際し本部から山本幹事が同地へ行かれた時、水野支部幹事等と談合して計畫の緒についたもので、爾後、水野幹事は同地の氣候や地勢の調査と研究に熱心せられ、屢々同地方の有力なる新聞紙上に意見を開陳して、大いに輿論を促がして居られる。精神一到必ず之れは遠からずして實現せられるものと思ひ、本部でも

力んでゐる。廣く會員諸氏の御援助を望む。

●神戸支部發會式 去る二月十三日神戸支部發會式を舉げた

此の日、本部から山本鹽田兩氏が西下したが、時間の都合上、先づ其の午後一時半、兵庫縣明石女子師範學校に赴いた。此の學校には小泉教諭を始め、生徒にも我が同好會員が頗る多いので之れを訪問する意味で行つたので、午後一時半から先づ同地の一般の人々のため同校々堂で講演會が開かれた、即ち

「天文學と人生」

理學士

山本一清氏

其の後、會員のために山本理學士は

「天文學上に於ける婦人の効績」

と題する一場の講話をせられた。それから次に親睦茶話會が催され頗る愉快であつた。

山本氏等一行は午後六時過明石を發し七時神戸に着、直ちに渡邊支部幹事の案内で神戸小學校に赴き發會式場に臨んだ。式は午後七時開會、先づ渡邊幹事の挨拶あり、それから左の記念講演があつた。

「木星と土星」

理學士

山本一清氏

「天體寫真について」

鹽田菊太郎氏

會後、九時無事に閉會

●佐々木哲夫氏逝く

京都大學天文臺勤務の佐々木會員は病氣にて長く歸郷靜養中いさころ、去る二月二十二日郷里にて逝去せられた。氏は日本最初の彗星發見者として世界的に名を擧げられた人である。いづれ次號に詳しい評傳をのせる。